

授業科目名	国際防災論	担当教員	塩川 太郎
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 1 クォーター		
講義内容	日本は地震や台風などの自然災害が多い地域であるが、世界では様々な災害が起こっている。近年、想定外と言われる災害が多発しているが、その多くは災害への認識不足に起因している。世界各地で起こる災害と防災について理解することは、これから起こる災害への備えとなるだろう。本講義では、世界の自然災害及び防災事情を学び、日本が世界に貢献できる防災・減災の取り組みを考える。		
到達目標	世界の自然災害と防災の取り組みについて理解し、日本が今後行うべき防災・減災のあり方について考えることができる。		
授業計画	1. 「授業紹介」 授業に関するガイダンス、自然災害とは 2. 「日本の災害と防災」 日本の災害史と防災事情について 3. 「アジアの災害と防災 1」 台湾の地震と防災事情 4. 「アジアの災害と防災 2」 スマトラ島沖地震と津波被害 5. 「北米の災害と防災 1」 ハリケーン被害と防災について 6. 「北米の災害と防災 2」 アメリカ・カナダの寒波・雪害について 7. 「中南米の災害と防災」 中南米の地震・火山噴火と防災について 8. 「ヨーロッパの災害と防災」 セーヌ川の洪水と防災について 9. 「オセアニアの災害と防災」 オーストラリアの森林火災と防災について 10. 「アフリカの災害と防災」 アフリカの干ばつと支援について 11. 「災害文化と防災」 過去の災害を伝える災害文化と防災について 12. 「課題発表」 グループ発表（日本が世界に貢献できる防災・減災の取り組みについて） ※一部内容を変更し、但馬地域内で防災に関する校外学習を行う予定		
事前・事後 学習	事前：授業テーマに関連したキーワードについて事前に調べておくこと。 事後：授業で学んだ内容について復習しておくこと。		
テキスト	なし 各回の授業において資料を配付する		
参考文献	適宜紹介する		
成績評価 の 基 準	出席及び受講態度（授業中の議論への貢献やリフレクションシートの内容等）（60％）と課題発表（グループ発表）（40％）にて評価		
履修上の注意 履修要件	なし		

実践的教育	該当しない。
備考欄	定員が上限を超えた場合は選考を行う。